

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときは お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)448-3311 ●大阪(06)251-5111 ●名古屋(052)232-2611

Printed in Japan

SONY

3-750-400-04 (1)

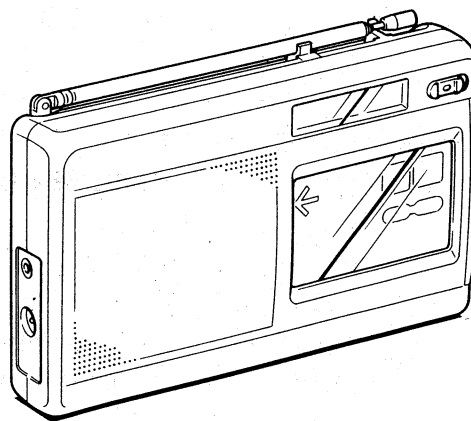
FM・TV1-3/AM2バンド
PLLシンセサイザーレシーバー

ICF-M500

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。



©1989 by Sony Corporation

目次

主な特長	②
お使いになる時のご注意	③
乾電池を入れてください	④
カードを選んでください	⑥
ラジオを聞くには	⑧
FM/AMメモリーカードで受信するには	⑩
カードの取り扱いについて	⑫
カードを使わなくても受信できます	⑭
カードの内訳	⑮
主な仕様	⑳
故障とお考えになる前に	㉓
保証書とアフターサービス	裏表紙

主な特長

放送局名を指定すると、ラジオがすぐに選局します（AM放送のみ）

透明パネルの上から放送局名に触れるだけ。すぐにラジオは放送を受信します。主な放送局の周波数はラジオ本体にあらかじめ記憶されていますので、選局の際のめんどろな数字合わせがいりません。

AM地域別放送局カード6枚が付属しています

ご自分の地域のカード1枚を本体にさしこんで、放送局名を指定します。

お好みの放送局を記憶させることもできます

放送局カード6枚の他に、FM/AMメモリーカード1枚が付属しています。お好みのFM放送やAM放送を、このカードを使ってラジオに記憶させることもできます。

②

お使いになる時のご注意

置き場所について

次のような場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。

- ・暖房器具の近く、窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
- ・ほこりの多い所。
- ・直射日光や紫外線が長時間当たるところ(夏季の海岸など)。
- ・極端に温度が高い所(周囲温度40℃以上)や寒い所(0℃以下)。暑い所では表示が88.8と見ることがあります。寒い所では表示文字の変わり方がゆっくりになることがあります(常温に戻せば、元に戻ります)。
- ・湿度の高い所(風呂場など)。
- ・強い振動や衝撃のあるところ

ラジオ本体について

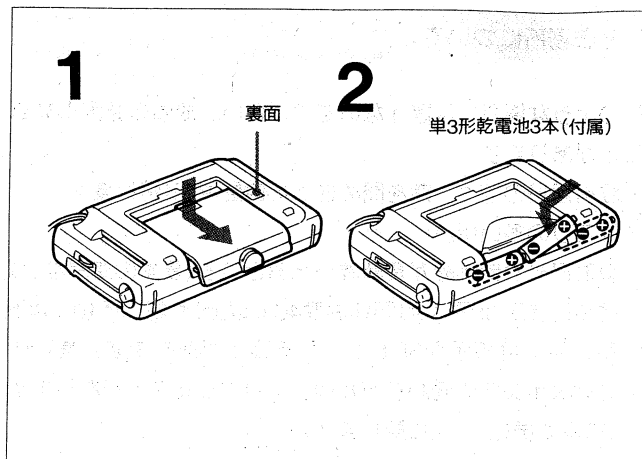
- ・ラジオ内部に液体や異物を入れないようにご注意ください。特にDC IN 4.5Vジャックに水や異物が入ると故障の原因となることがあります。
- ・汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- ・キャッシュカード、定期券など磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。

異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、(ACパワーアダプターは必ずコンセントから抜いて)内部をあけずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

③


乾電池を入れてください



乾電池で使うときには

ACパワーアダプターやカーバッテリーコードを、DC IN 4.5Vジャックから抜いてください。つながれていると乾電池では使えません。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、表示窓に  マークが点滅し、ラジオの音が聞こえなくなります。

その場合は、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。持続時間は付属の電池の場合、約18時間です。

乾電池を入れ換えるときには

2分以内にしてください。2分以上経過すると、メモリーカードで記憶させた局は消えてしまいます。

乾電池を長い間取り出しておいたときには

メモリーカードで記憶させた局は消えてしまいますので、必ず記憶し直してください。

乾電池についてのご注意

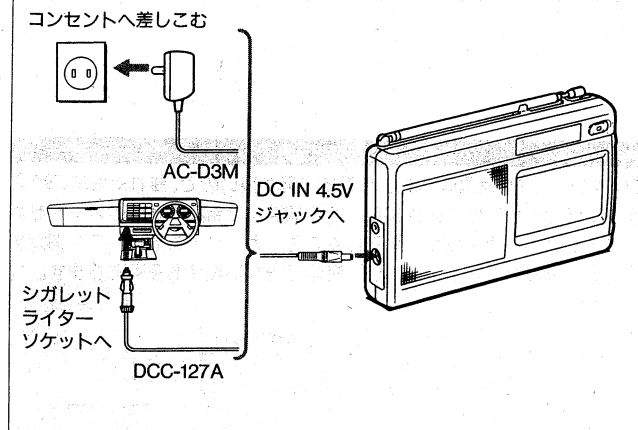
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ・+と-の向きを正しく入れてください。
- ・新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池は充電できません。
- ・長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。

万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。

4

その他の電源で使うには



家庭用電源コンセント(AC100V)から

別売りのACパワーアダプターAC-D3MをDC IN 4.5Vジャックにつなぎます。

自動車バッテリー(12V車)から

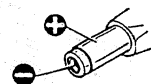
別売りのカーバッテリーコードDCC-127A(12V車用)をDC IN 4.5Vジャックにつなぎます。

DC IN 4.5Vジャックにコードをつなぐと、乾電池が入っていても自動的に外部電源に切り換わります。

ご注意

- ・ACパワーアダプターを使わないときは、必ずコンセントと本機のDC IN 4.5Vジャックから抜いてください。
- ・ACパワーアダプターやカーバッテリーコードには、ソニーの推奨品または同等品をお使いください。プラグの極性・その他の仕様の違う製品を使うと、故障したり、性能を十分に発揮できないことがあります。

ソニーのプラグの極性



5

カードを選んでください

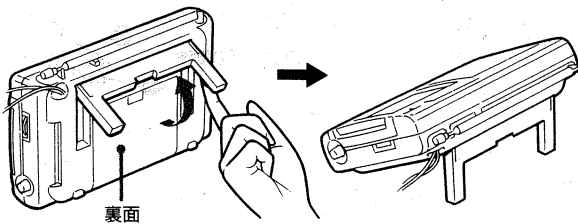
このラジオには7枚のカードが付属しています。ご自分の地域のカードを1枚選んでください。(右図参照)
(各々のカードの詳しい内訳は、18ページを見てください。)

離れた地域の放送局について

AM放送に限り、夜間は昼間より電波状況が良いので、離れた地域の放送局を受信できることもあります。その際は、ご希望の地域のカードを選んでください。周波数がわからなくても、カード上の放送局名を指定するだけで選局できます。ただし、受信できない場合も多くあります。

机の上に置いて使うとき

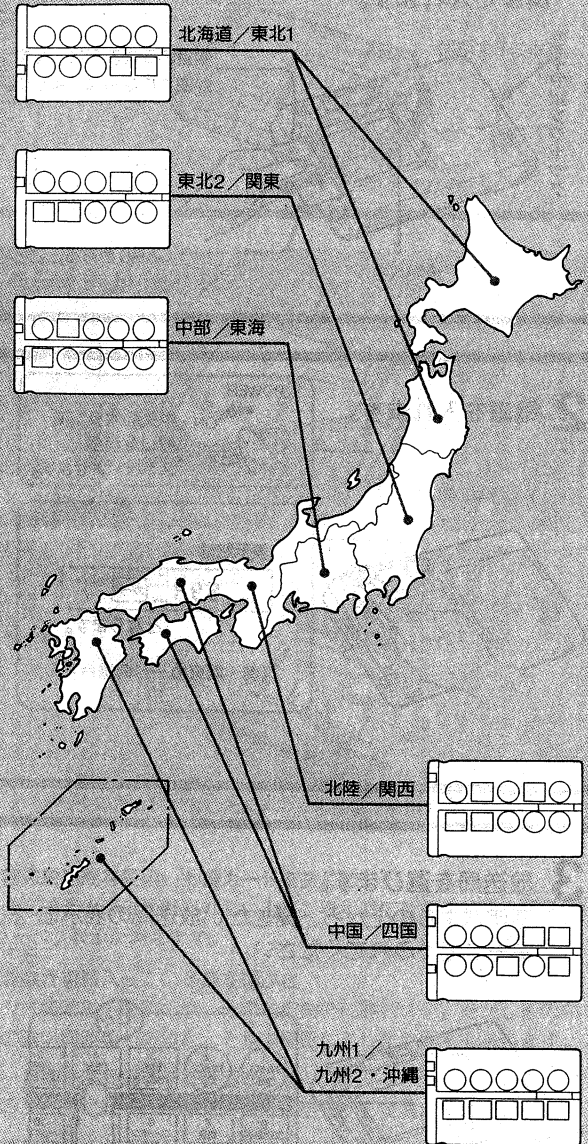
下図のようにスタンドを出すと、操作するときに便利です。



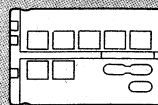
6

AM地域別放送局カード6枚

(表と裏の両面に放送局が入っています。)



FM/AMメモリーカード1枚

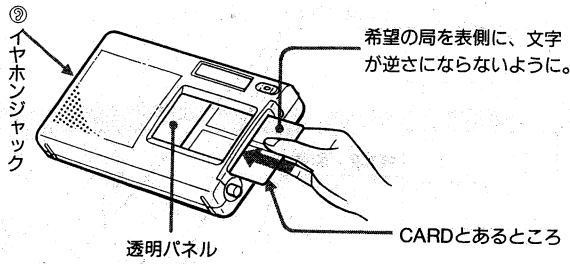


FM放送は、このカードでラジオに記憶させてください。(詳しい使いかたは、18ページ参照)

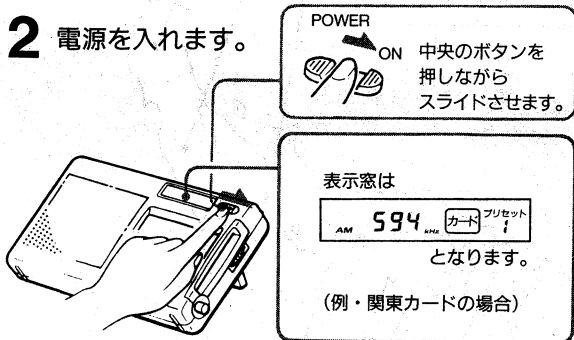
7

ラジオを聞くには

- 1** 選んだカード1枚を横からさしこみ、奥まで入れます。

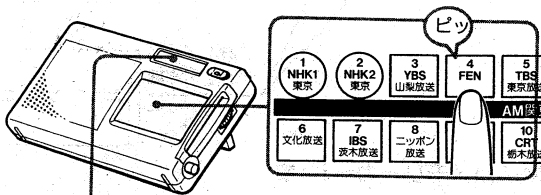


- 2** 電源を入れます。



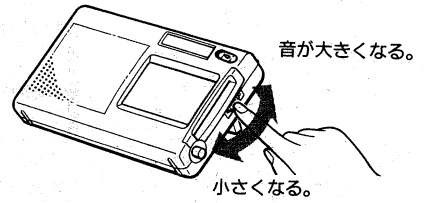
- 3** 放送局を選びます。

透明パネルの上から、聞きたい放送局の表示に指先で軽くふれてください。

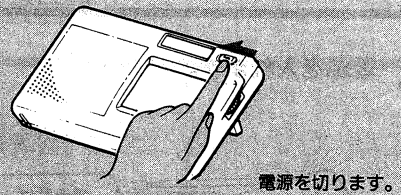


表示窓には、選んだ放送局の周波数が現われます。

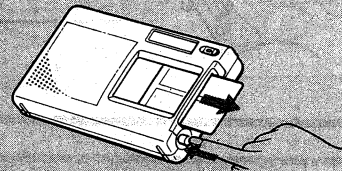
- 4** 音量を調節します。



ラジオを止めるには



カードを取り出すには



希望の放送局を受信した後カードを抜くと

放送局はそのまま受信されています。表示窓には周波数のみ表示され、(カード)表示が消えます。

周波数が複数入っている局を選ぶと

ラジオ側で最も電波の強いものを自動的に選びます。ただしその中で雑音の強い周波数があると、それを受信してしまう場合もあります。

カードで一度受信すると次回からは

そのカードで最後に選んでいた局が自動的に受信されます。

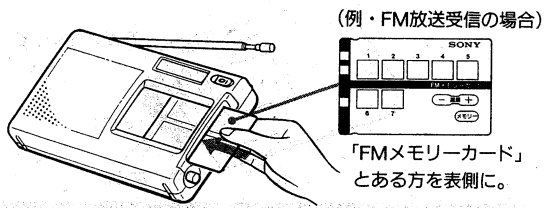
イヤホンをイヤホンジャックにさしこむと

スピーカーからの音は聞こえなくなります。

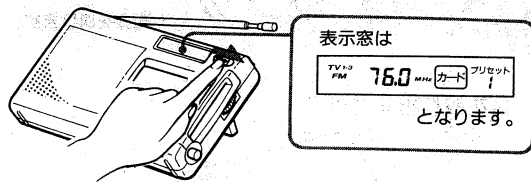
ご注意

このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合には、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

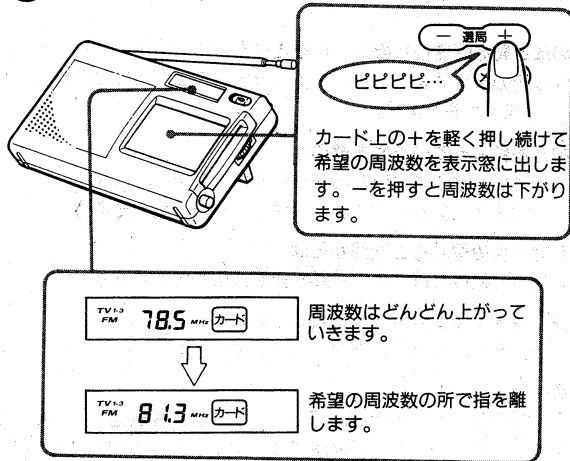
1 メモリーカードをさしこみます。



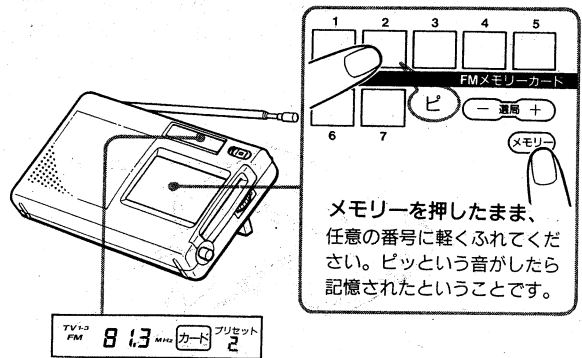
2 電源を入れます。



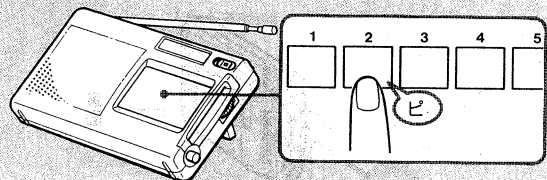
3 放送局を選びます。



4 記憶させます。



記憶させた局を受信するには



メモリーカードを入れた後、記憶させた数字を軽くふれるだけで受信します。

記憶可能な放送局数は FM/AM放送それぞれ7局です。

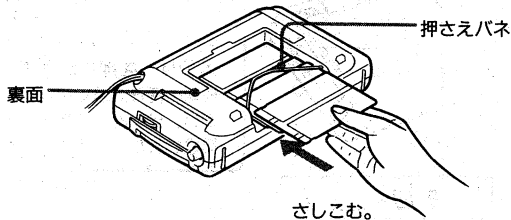
6枚のAM地域別放送局カードで受信できない周波数は AMメモリーカードに記憶させてください。

記憶させるとき、ピッという音がしなかったら記憶していませんので、もう一度表示窓で受信周波数を確認のうえ、この操作をくり返してください。

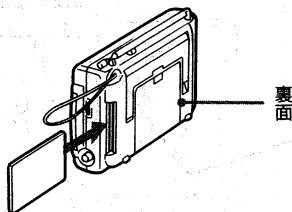
カード上に放送局名を書きこめます
記憶させた放送局名を、鉛筆で書きこんでおくと便利です。

カードの取り扱いについて

- カードは常に、CARD差しこみ口にさしこんでおいてもかまいません。ただし、ラジオを外へ持ち出すときや、使わないときは下図のように、カード収納部(電池ぶたの中)にまとめてしまっておいてください。なくす心配が、ありません。



- よくご使用になるカードは、本体裏側の予備カードポケットに1枚入れておくと便利です。

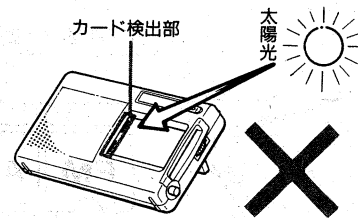


- カードは磁気カードではありませんので、磁気の影響は受けません。

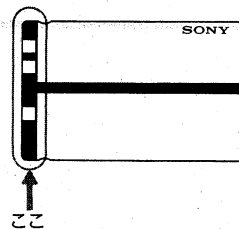
ご注意

- キャッシュカードなどの磁気カードを、CARD差しこみ口にさしこんだり、カード収納部に入れたりしないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがあります。
- カードは折り曲げないでください。
- カードを高温多湿の場所に放置しないでください。変形することがあります。
- 付属している7枚以外のカードは、CARD差しこみ口にさしこまないでください。カードが出てこなくなることがあります。
- このラジオは光センサーでカードの識別をしていますので、次の点にご注意ください。

カードをさしこむ時に、ラジオのカード検出部に直接太陽光をあてないでください。直接太陽光があたると、カードを正しく識別しない場合があります。

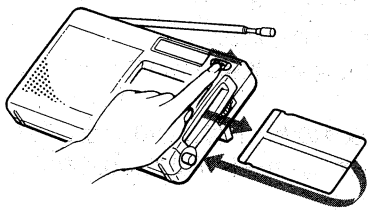


カードの黒い部分を汚さないでください。汚れのため正しく検出されないと、表示窓に「カード」表示が出ない場合があります。



- ラジオがカードを正しく識別しない場合表示窓にプリセット0の表示が出ることがあります。その時はカードを一度取り出して、またさしこみ直してください。

1 電源を入れます。

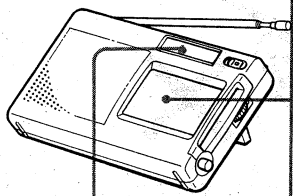


カードはぬいて
しまっておきます。

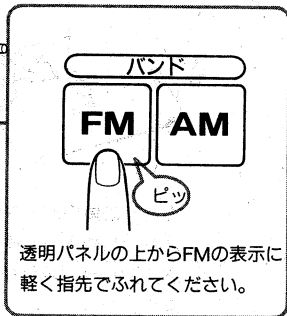
2 FMかAMを選びます。

(表示窓に出たバンドが希望のものであれば
この操作は不要です)

(例・FM放送受信の場合)

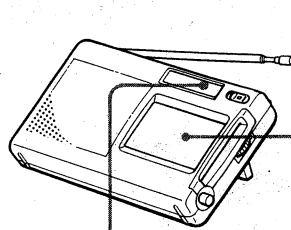


表示窓には、選んだバンドが
表示されます。



透明パネルの上からFMの表示に
軽く指先でふれてください。

3 放送局を選びます。



+カーを押して、希望の放送局の
周波数を出します。

表示窓の周波数は +を押すと上がっていきます。
-を押すと下がっていきます。

受信する放送局の周波数は

あらかじめ新聞などで確認しておくくと便利です。

希望の放送局を選ぶときのコツ

- ① +カーを押し続けてください。周波数が変わり、ピピピピ...という連続音が聞こえます。
- ② 希望の周波数の近くにきたら指を離し、押し続けるのをやめます。
- ③ 希望の周波数まで1回ずつ軽く押し進めていきます。

このラジオの周波数は次の間隔で変わります

A M	9kHz
F M	0.1MHz
TV1~3	1 ch

ピーという音が聞こえたら

周波数が531kHz、もしくは1,710kHzで止まっています。

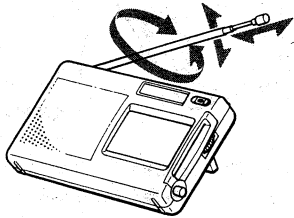
(FM/TV1~3の時は76MHzまたはTV3ch)

+カーを押し直して周波数を逆の方向に戻りさせましょう。

良い受信状態で聞くには

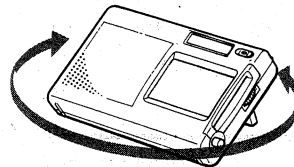
FM/TV1～3ch放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最も良くなるように方向と角度を調節します。



AM(中波)放送の場合

ラジオの向きによって受信状態が変わります。最もよく受信できる向きにしてお聞きください。



カードの内訳

6枚のAM地域別放送局カードの内容は、次のとおりです。

カード上の数字	1	2	3	4
---------	---	---	---	---

北海道	NHK1 札幌	NHK1 釧路	NHK1 帯広	NHK1 函館
	567	585	603	675
東北 1	NHK1 盛岡	IBC 岩手放送	NHK2 秋田	ABS 秋田放送
	531	684	774	936

東北 2	NHK1 山形	NHK1 郡山	NHK1 仙台	YBC 山形放送
	540	846	891	918(山形) 1098(鶴岡・ 酒田)
関東	NHK1 東京	NHK2 東京	YBS 山梨放送	FEN
	594	693	765	810

中部	NHK1 松本	YBS 山梨放送	NHK1 高山	NHK1 長野
	540	765	792	819
東海	NHK2 静岡	NHK1 名古屋	NHK1 静岡	NHK2 名古屋
	639	729	882	909

北陸	NHK1 富山	KNB 北日本放送	NHK1 新潟	FBC 福井放送
	648	738	837	864
関西	ラジオ関西	NHK1 京都	NHK1 大阪	NHK2 大阪
	558	621	666	828

(単位kHz)

5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	----

NHK2 北見	NHK2 札幌	NHK2. 釧路	NHK1 北見	HBC 北海道放送	STV ラジオ
702	747	1152	1188	864(室蘭・旭川) 900(函館) 1287(札幌) 1404(釧路)	918(釧路) 1197(旭川・函館・ 名寄・稚内・留萌) 1440(札幌・室蘭・苫小牧)
NHK1 青森	NHK1 八戸	RAB 青森放送	NHK2 盛岡	NHK1 秋田	NHK2 青森
963	999	1233(青森) 1485(八戸)	1386	1503	1521

NHK2 仙台	RFC ラジオ福島	TBC 東北放送	NHK1 福島	NHK2 山形	NHK2 福島
1089	801(原町) 1098(郡山) 1431(いわき) 1458(福島)	1260	1323	1521	1602
TBS 東京放送	文化放送	IBS 茨城放送	ニッポン 放送	RF ラジオ日本	CRT 栃木放送
954	1134	1197(水戸) 1458(土浦)	1242	1422	864(那須) 1530(宇都宮)

NHK1 甲府	SBC 信越放送	NHK2 高山	NHK2 長野	NHK2 松本	NHK2 甲府
927	864(松本) 1098(長野・ 飯田・伊那)	1125	1467	1512	1602
NHK1 浜松	CBC 中部日本	東海ラジオ	SBS 静岡放送	GBS 岐阜放送	NHK2 浜松
999	1053	1332	1404	1431	1521

NHK1 福井	MRO 北陸放送	BSN 新潟放送	NHK1 金沢	NHK2 金沢	NHK2 新潟
927	1107	1116(新潟) 1530(上越・ 糸魚川)	1224	1386	1593
NHK1 彦根	ABC 朝日放送	KBS 京都	MBS 毎日放送	OBC ラジオ大阪	WBS 和歌山放送
945	1008	1143(京都) 1215(彦根・ 舞鶴)	1179	1314	1431

中 国	NHK1 岡山	NHK1 山口	NHK2 広島	KRY 山口放送
	603	675	702	765(徳山) 918(下関) 1485(萩)
四 国	RKC 高知放送	NHK1 徳島	NHK1 松山	NHK1 高知
	900(高知) 1197(中村)	945	963	990

BSS 山陰放送	NHK1 広島	NHK1 松江	RCC 中国放送	NHK1 鳥取	RSK 山陽放送
900(米子) 1431(出雲・ 益田)	1071	1296	720(三原) 1350(広島) 1458(庄原・ 三次・東城)	1368	1494
RNB 南海放送	NHK2 高知	JRT 四国放送	NHK1 高松	RNC 西日本放送	NHK2 松山
1116(松山・ 今治・八幡浜) 1530(宇和島)	1152	1269	1368	1233* 1449(高松・ 観音寺・丸亀)	1512

九 州 1	NHK1 福岡	NHK1 長崎	NHK1 熊本	NHK1 大分
	612	684	756	819
九 州 2 沖 縄	NHK1 宮崎	NHK1 那覇	NHK1 鹿児島	RBC 琉球放送
	540	549	576	738(那覇) 1152(宮古)

NHK2 福岡	OBS 大分放送	RKK 熊本放送	NBC 長崎放送	RKB 毎日放送	KBC 九州朝日
1017	1098	1197	1098(佐世保・島原) 1233(長崎) 1431(福岡) 1458(佐賀)	1197(北九州) 1278(福岡)	720(北九州) 1413(福岡)
ROK ラジオ沖縄	NHK2 熊本	MRT 宮崎放送	MBC 南日本放送	NHK2 那覇	NHK2 鹿児島
783	873	936	1107	1125	1386

・NHK第一放送については、県庁所在地にある局（佐賀を除く）はすべて入れ、地方の局やNHK第二放送は、出力の大きさや地域の人口などを考慮して入れてあります。

・民放の複数の周波数は、同一放送の中から出力の大きな順に、地域の人口などを考慮して4つの周波数までとしています。

・原則として、出力1kW以上の局を対象としています。

* '90年7月9日より1449kHzに統一

参 考

前述のカードにのっている周波数を、同一地域内の出力の小さい中継局が使っている場合があります。地域によっては、そちらの局を受信することがあります。重複している周波数と各々の放送局は次のとおりです。

地 域	周波数(kHz)	カードにのっている放送局
東 北 1	1 5 2 1	NHK 2 青森
東 北 2	1 6 0 2	NHK 2 福島
中 部	1 5 1 2	NHK 2 松本
	1 6 0 2	NHK 2 甲府
関 西	6 6 6	NHK 1 大阪
	8 2 8	NHK 2 大阪
中 国	1 3 6 8	NHK 1 鳥取
四 国	1 3 6 8	NHK 1 高松
九 州 1	8 1 9	NHK 1 大分
九 州 2	5 4 0	NHK 1 宮崎

カードにのっていない放送局(県)と出力		
NHK 2	花輪(秋田県)	0.1kW
NHK 2	田島(福島県)	0.1kW
NHK 2	駒ヶ根(長野県)	0.1kW
NHK 2	上田(長野県)	0.1kW
NHK 2	木曾福島(長野県)	0.1kW
NHK 2	萩原(岐阜県)	0.1kW
NHK 1	三木(兵庫県)	0.1kW
NHK 2	三木(兵庫県)	0.1kW
NHK 1	川本(島根県)	0.1kW
NHK 1	八幡浜(愛媛県)	0.1kW
NHK 1	大正(高知県)	0.1kW
NHK 1	佐世保(長崎県)	1kW
NHK 1	石垣(沖縄県)	1kW

主な仕様

- 受信周波数 FM : 76~90MHz
TV : 1、2、3チャンネル
AM : 531~1,710kHz
- アンテナ TV/FM : ロッドアンテナ
AM : フェライトバーアンテナ
- スピーカー 直径7.7cm、丸型8Ω1個
- 実用最大出力 250mW(EIAJ*/DC)
- 出力端子 イヤホンジャック(ミニジャック) 1個
- 電源 DC4.5V、単3形乾電池3本
別売りのACパワーアダプターAC-D3Mを接続してAC100V電源から使用可能
別売りのカーバッテリーコードDCC-127Aを接続して12V自動車バッテリーから使用可能
- 電池持続時間 約18時間(EIAJ)、ソニー乾電池SUM-3(NS)使用時
- 最大外形寸法 約189×116×45mm(幅/高さ/奥行き)(EIAJ)
- 重量 約570g(乾電池含む、他の付属品含まず)
- 付属品 放送局カード(6)、メモリーカード(1)、ソニー乾電池SUM-3(NS)(3)、イヤホン(1)、取扱説明書(1)、サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1)、保証書(1)
- 別売りアクセサリ ACパワーアダプターAC-D3M
カーバッテリーコードDCC-127A
モノラルイヤホン MDR-E143
イヤホン ME-L82

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

故障とお考えになる前に

ラジオの調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前にもう一度取扱説明書をお読みにになり、次のような点検をしてください。

悪いところは？	原因は？	直しかた
電源スイッチを「入」にしても電源が入らない	電池の入れかたが違う	⊕⊖を正しく入れ直す
	電池が弱っている	新しい電池を入れる
表示窓に表示が出ない	電池の入れかたが違う	⊕⊖を正しく入れ直す
	電池が弱っている	新しい電池を入れる
表示窓の表示が薄く見にくい	極端に暑いところや寒いところ、湿気の多いところで使っている	適当な場所を選ぶ
音がまったく聞こえない	音量が最小になっている	音量を調節する
	イヤホンがジャックに差し込まれている	イヤホンを抜く
	電池の入れかたが違う	⊕⊖を正しく入れ直す
雑音が入る、音が悪い	電池が弱っている	新しい電池を入れる
	電波が弱い	建物や乗り物の中などでは窓際で聞く
	アンテナの調節が不十分である	アンテナを調節し直す(10ページ)
放送局が記憶されない	操作の手順が間違っている	メモリーカードを使用し、正しい操作をする(10ページ)
記憶させたはずの放送局を受信できない	記憶させた放送局の番号が間違っている	正しい番号を押す
	記憶させた放送局が消えている	もう一度記憶させる(10ページ)